

looking up the sky

# ソラ 宙を見上げる家 at THE HOUSE



ソラ  
宙には様々な表情があります。  
例えば真夏に晴れた日の雲ひとつ無い青空。

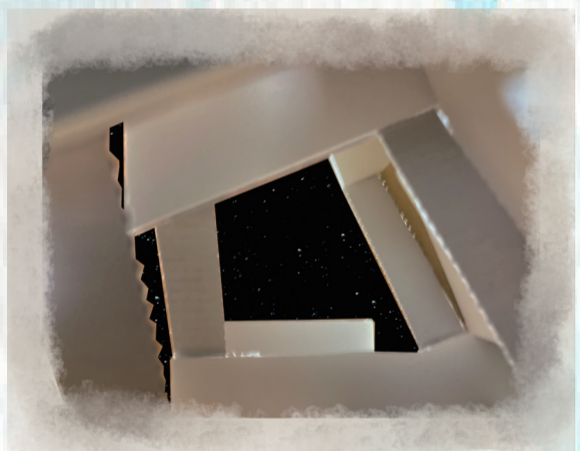
或いは曇天。朝焼けの薄紫。

朝のセルリアンブルー。夕焼けの朱の色。夜のミッドナイトブルー。



外をしとしと降る雨の音に静寂を感じる時もあれば、  
突然煌めいた雷に驚く時もあります。  
雪が無い落ちる様子を眺めることもあるでしょう。

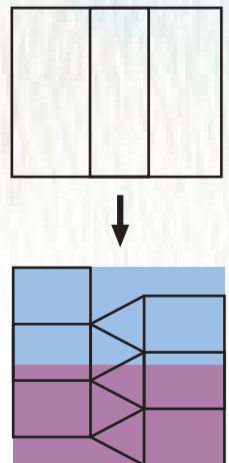
雲が表情を作り出すこともあります。  
夏には入道雲やひこうき雲。秋の羊雲やうろこ雲。  
雲間に覗く天の梯子を見て感動した経験もあるでしょう。



晴れていれば夜は星が見えます。  
季節で移り変わる星を真夜中にゆっくりと眺める、  
そんな時間を過ごしてみることも時には必要かもしれません。

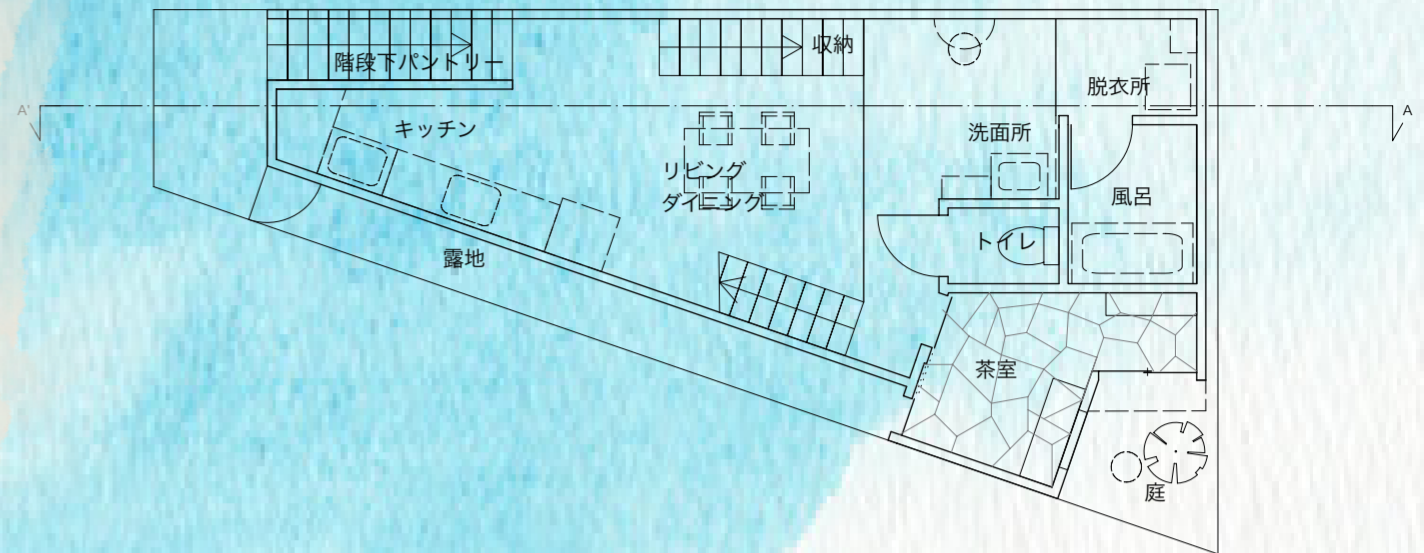
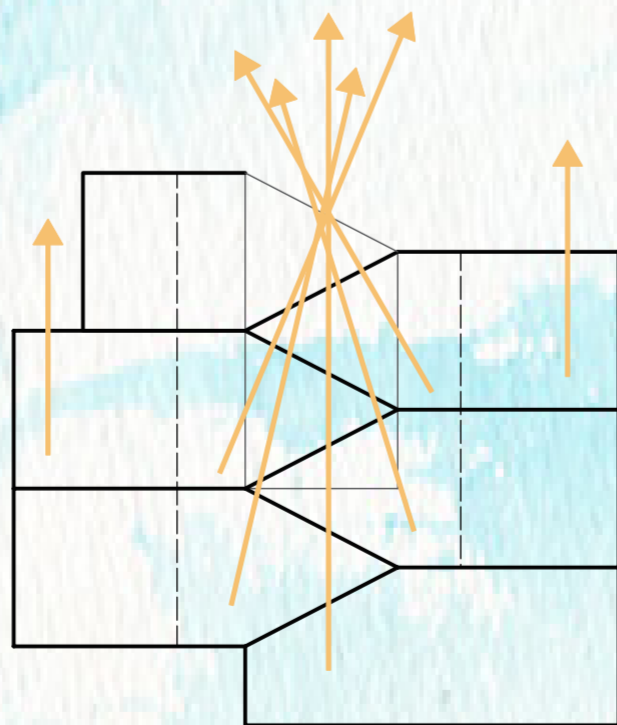
常に違う表情を見せ続けるそんな宙を感じながら生活してみませんか？

ここは宙を見上げたくなる家。

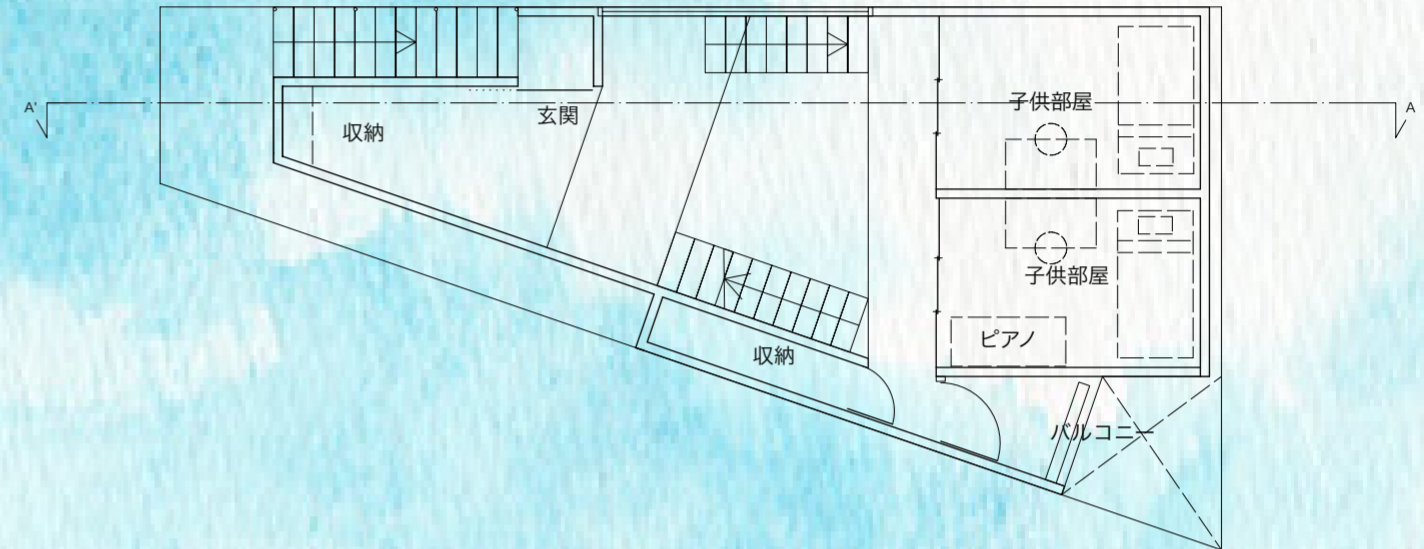


## ダイアグラム

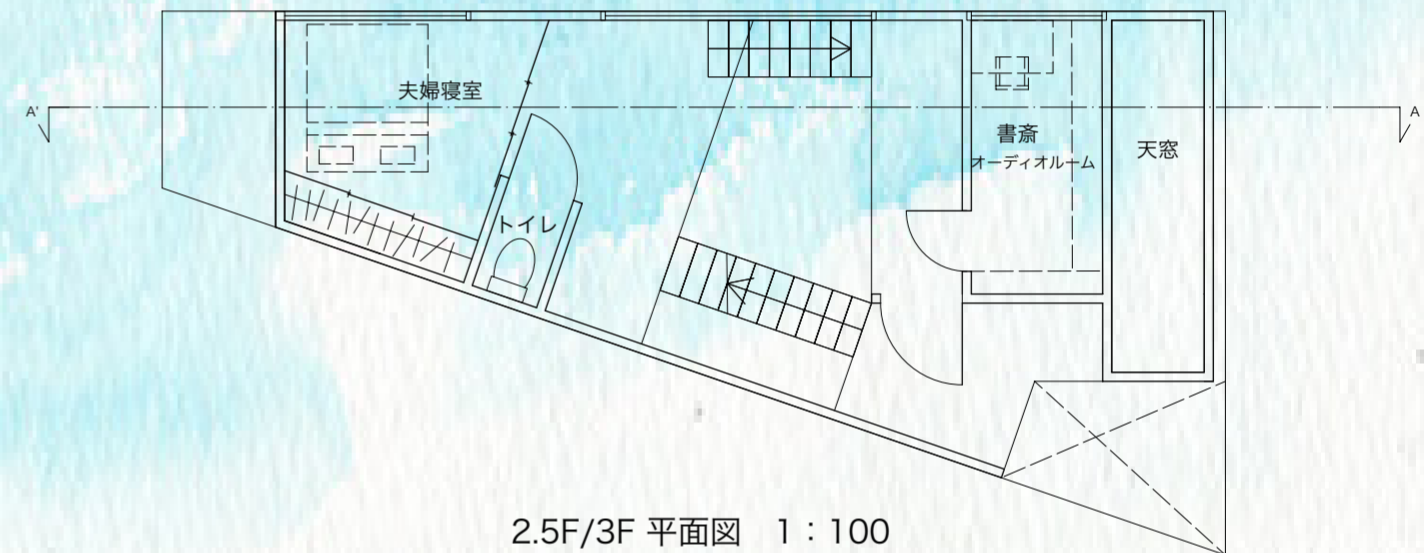
空を見ながら生活するために、まず思いついたことは吹き抜けであった。  
しかし、単に吹き抜けをつくるだけでは空を見erと言うには些か無理があるように思えた。  
そこでスキップフロアとすることで3階分天井を抜き、天窓を様々な場所に設けることで、より空を見ながら生活することを意識させる空間となった。特に全員の寝室に天窓があることで、星を見て眠れることや早朝の薄紫色の空を見れるようになっている。  
また、上層を静、下層を動の空間という構成にし、なるべく人の出入りや動きがある部屋と静かに過ごす空間をなるべく分けた。



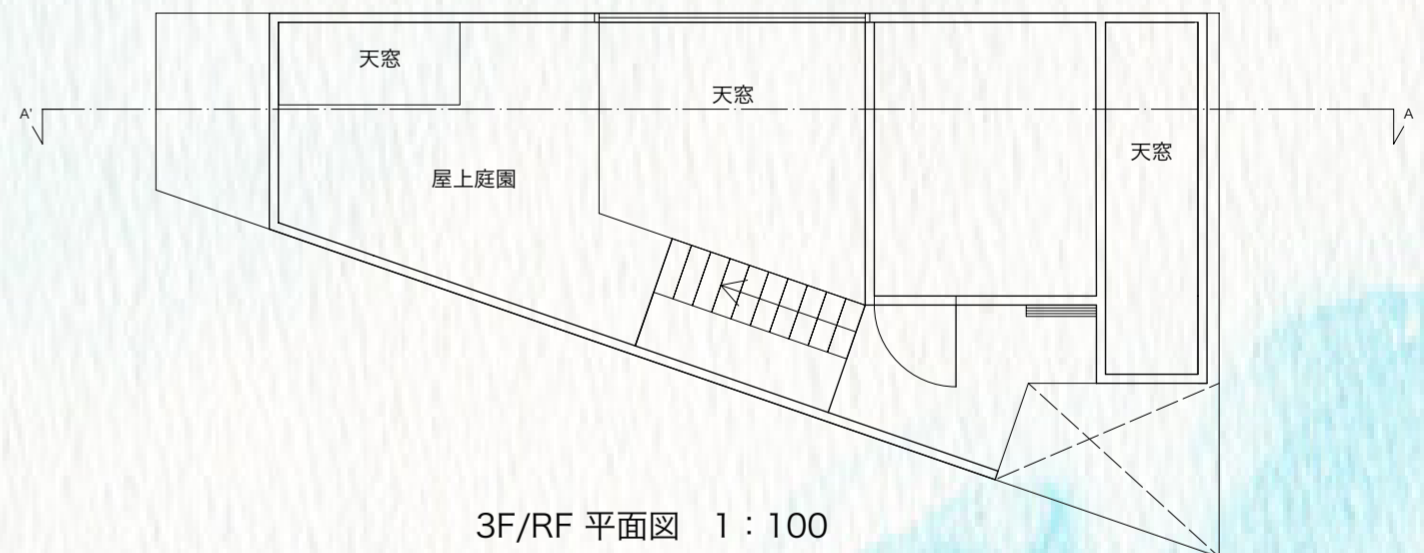
0.5F/1F 平面図 1:100



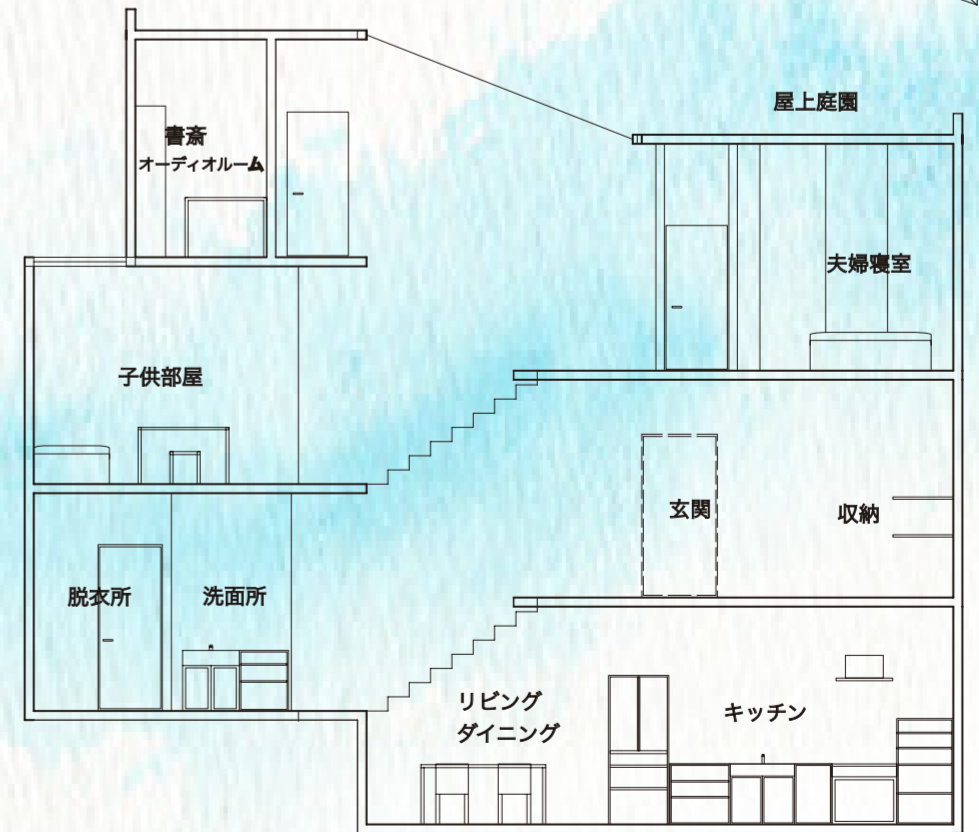
1.5F/2F 平面図 1:100



2.5F/3F 平面図 1:100



3F/RF 平面図 1:100



A-A'断面図 1:100

## 家族構成

父  
フリーランスのプログラマーで在宅の仕事を行うことが多い。  
そのため仕事部屋兼書斎があると良い。また、趣味で映画や音楽を鑑賞するのでオーディオルームが欲しい。

母  
茶道を趣味とし茶道教室を開くために茶室が欲しい。  
出来ればウォークインクローゼットやパントリー（小さな食料庫）を設けたい。

長男  
小学校6年生(11)(身長150弱)サッカーをしているので泥だらけになることが予想される。  
従って洗濯の負担を減らす工夫があると良い。

長女  
小学校3年生(8)(身長130弱)ピアノを習っているため部屋にアップライトピアノを置くスペースが必要。



## 敷地図兼配置図 1:200

住所:〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2丁目8  
面積:67平米 下の図は上が西向き  
建築面積:50平米以内  
延べ床面積:150平米以内  
容積率:300%以内